

平成28年度
マンション維持修繕技術者
記述式試験

問題用紙

次の注意事項をよく読んでから始めて下さい。

(ご注意)

1. 記述式試験の試験時間は16時00分から17時00分までです。
2. 途中退出は、試験開始から30分間経った時点から認めます。試験監督員から案内があります。
3. これは「記述式試験問題」です。問題は1ページから4ページまで、全4問あります。
4. 試験開始の合図と同時に問題用紙のページ数を確認して下さい。もし、落丁や乱丁がありましたら、ただちに試験監督員に申し出て下さい。
5. 解答は、別紙の解答用紙に記入して下さい。
6. 各問題とも2つ以上の解答をしたもの、判読が困難なものは正解としません。
7. ご提出いただくのは解答用紙のみです。問題用紙はお持ち帰り下さい。
8. 問題中の法令等に関する部分は、平成28年4月1日現在で施行されている規定に基づいて出題されています。



【問題 1】 塗装の改修工事の仕様書に関する次の記述において、文中の(①)から(⑧)に該当する最も適切な語句を、下記の選択語群のア～セの中から選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。

- ・塗装の各工程においては、(①)が塗膜の品質を決定する最も重要な項目であるため、仕様書には明確に記載する必要がある。
- ・工程のうち、複層塗材における(②)は、「主材塗り」や「防水層塗り」等の目的や役割を表現した工程名について記載する。(③)は、既存塗膜面に直接施工するものを記載する。
- ・工程ごとに示す使用量において、塗付け量とは、被塗物の単位面積に塗り付ける原材料量であり、施工時のロスを(④)。所要量とは、被塗物を仕上げるのに使用した単位面積あたりの原材料量であり、施工時のロスを(⑤)。
- ・間隔時間とは、次の工程に移るまでの(⑥)である。(⑦)とは、同一工程内における塗り重ね可能間隔時間であり、(⑧)とは、次の異なる工程に移るまでの間隔時間である。

[選択語群]

ア. 下地調整	イ. 下塗り	ウ. 中塗り
エ. 上塗り	オ. 希釈割合	カ. 最終養生時間
キ. 工程間間隔時間	ク. 工程内間隔時間	ケ. 乾燥時間
コ. 種別	サ. 塗回数	シ. 含む
ス. 含まない	セ. 使用部位	

【問題 2】 屋上の防水の改修に関する次の記述において、文中の(①)から(⑦)に該当する最も適切な語句を、下記の選択語群のア～セの中から選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。

防水の改修では、あごありパラペットの立上り部分の既存保護材を撤去すれば、改修防水層をパラペットのあご下に納めることが可能である。その場合、改修防水層の(①)からの漏水を防ぐために、改修防水層の立上り面の(②)の水密性を確保することが重要である。そのために、パラペットあご下の防水層は、立上りの(②)を(③)で押え、下地と(③)の間に(④)を施工することが最低限必要である。

また、あごありパラペットがコンクリート素地のままで防水処置が施されていない場合は、笠木部分に(⑤)が生じると、その部分より浸入した雨水が改修防水層の(①)に回り漏水する可能性が高いため、改修においては、笠木のコンクリートを(⑥)又は(⑦)で保護することが望ましい。

【選択語群】

ア. 表側	イ. 裏側	ウ. 端部	エ. 中央部
オ. 底部	カ. 専用の金物	キ. 中性化	ク. ひび割れ
ケ. 金属製笠木	コ. モルタル	サ. シール	シ. 塗膜防水
ス. 吸水調整材	セ. レンガ		

【問題 3】 地中埋設配管に関する次の記述において、文中の(①)から(⑤)に該当する最も適切な語句を、下記の選択語群のア～ケの中から選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。

地中埋設配管の地盤沈下・耐震措置で重要な箇所は、(①)の配管であり、(②)と地盤の変位によって配管が折損しないよう措置を講じる。長い給水配管においては、埋設部の折損対策として、(③)では伸縮可とう継手の使用が有効である。

地中埋設鋼管に生じる外面腐食には、全面腐食と特定部分の局部腐食がある。全面腐食は、一般的に全面が均一に腐食するため、進行は(④)。一方、局部腐食のうち、鋼管が土中からコンクリート躯体を貫通する部分に発生するコンクリート接触腐食は、鋼管のコンクリート中の電位と土壌中の電位に差ができて腐食するため、進行が(⑤)場合が多い。

[選択語群]

- | | | |
|-----------------|----------|--------------|
| ア. 道路と敷地の境界部 | イ. 道路 | ウ. 建物導入部 |
| エ. 建物 | オ. 速い | カ. 緩やかである |
| キ. 水道用ポリエチレン二層管 | ク. 水道用銅管 | ケ. 水道用ポリブテン管 |

【問題 4】 「マンションの建替え等の円滑化に関する法律」に関する次の記述において、文中の(①)から(⑤)に該当する最も適切な語句を、下記の選択語群のア～ソの中から選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。

この法律は、平成26年に一部が改正され、(①)に対する安全性が確保されていないマンションの建替え等の円滑化を図るため、そのマンション及び(②)の売却について、区分所有者、議決権及び当該敷地利用権の持分の価格の各(③)の多数により可能となった。

また、除却の必要性の認定を受けたマンションの建替えにより新たに建設されるマンションで、一定の敷地面積を有し、市街地環境の整備・改善に資するものについて、(④)が許可した場合には、(⑤)が、緩和される。

【選択語群】

ア. 地震	イ. 火災	ウ. 漏水	エ. 敷地
オ. 附属施設	カ. 規約共用部分	キ. 過半数	ク. 3/4以上
ケ. 4/5以上	コ. 特定行政庁	サ. 国土交通大臣	シ. 建替事業者
ス. 建ぺい率	セ. 容積率	ソ. 主要構造部	

